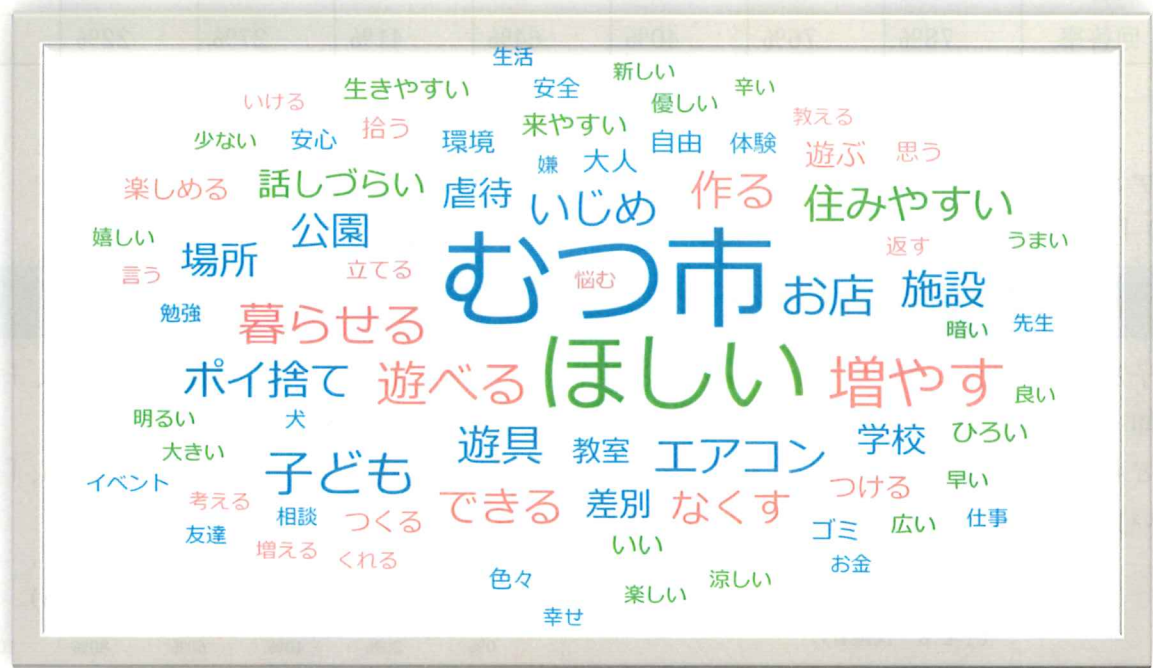


子どもの権利に関する アンケート結果



令和5年11月

むつ市

子どもの権利アンケート結果

1. アンケート概要

- 目的：「(仮) 子どもの権利条例」制定の基礎資料及び今後の取組の参考とする
- 対象者：市内小学5年生、中学2年生、高校2年生及びその保護者
- 実施期間：令和5年9月15日～10月6日
- 実施方法：市内の小中学校（QRコードを配布されているタブレット端末による無記名回答）
市内の高校（QRコードで携帯等の端末による無記名回答）
保護者（QRコードで携帯等の端末による無記名回答）
- 配布総数：子ども・保護者 各1,239名
- 回答総数及び回答率：子ども 794名（64%） 保護者373名（30%）

	子ども				保護者			
	小5	中2	高2	計	小5	中2	高2	計
配布	415	386	438	1,239	415	386	438	1,239
回答	324	295	175	794	172	105	96	373
回答率	78%	76%	40%	64%	41%	27%	22%	30%

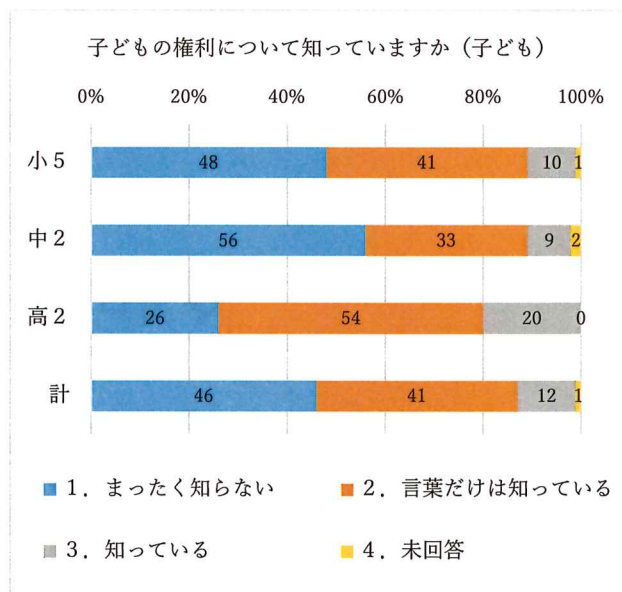
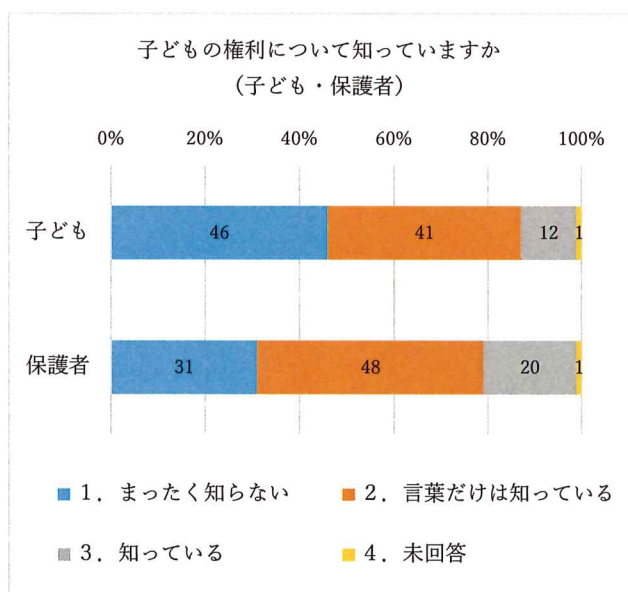
2. アンケート結果

(1) 「子どもの権利」についての認知度

1. 子どもの権利について知っていますか

「子どもの権利」について「知っている」と回答したのは子どもが12%、保護者が20%、「言葉だけは知っている」と回答したのは子どもが41%、保護者が48%であった。

子どもの学年別回答では、「知っている」と回答した割合が最も高かったのは高校生で20%、「全く知らない」と回答した割合が最も高かったのは中学生で56%だった。



(2) 大切だと思う「子どもの権利」

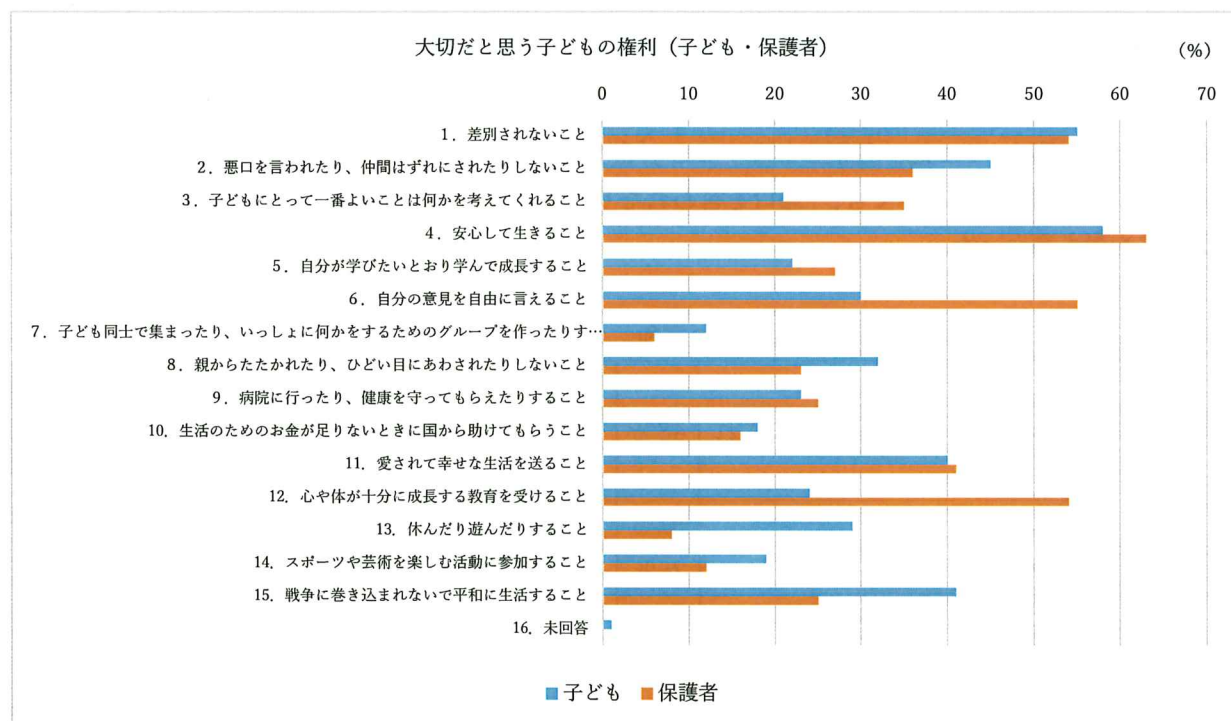
2. あなた自身が特に大切だと思う子どもの権利を選んでください（5つまで）

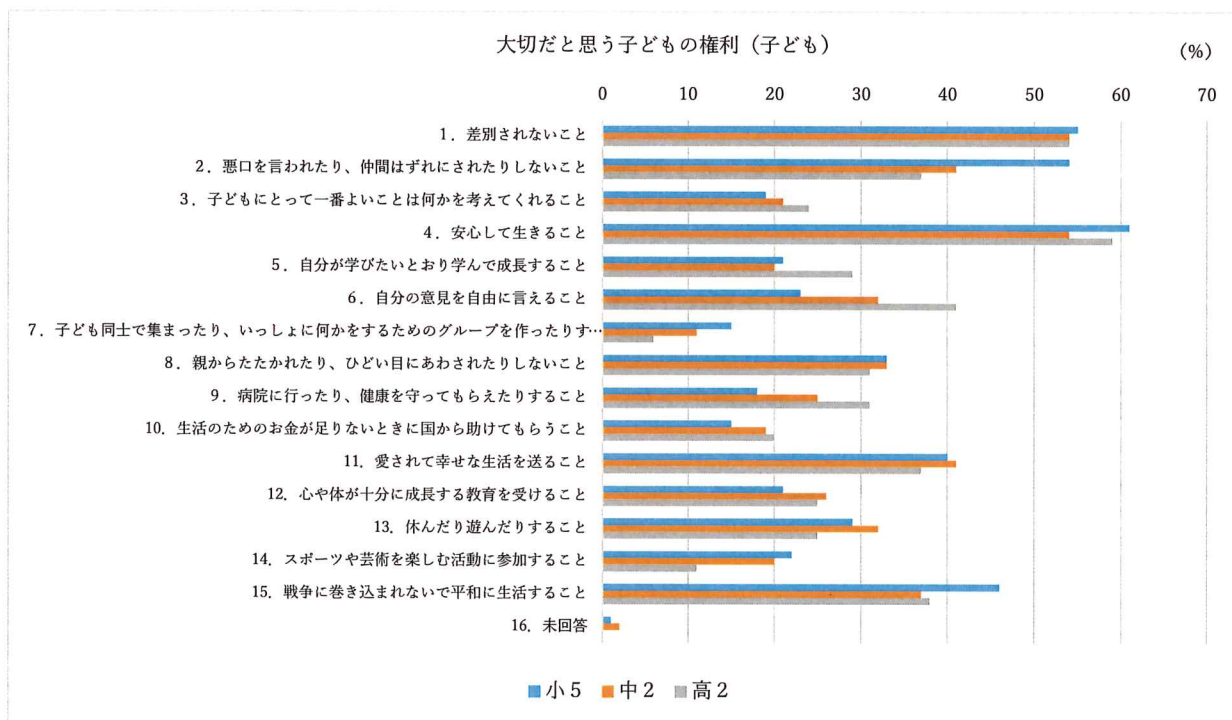
子ども、保護者ともに「安心して生きること」を選択した割合が最も高かった。子どもと保護者を比較すると、「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと」や「戦争に巻き込まれないで平和に生活すること」を選択した割合が子どもの方が高く、「自分の意見を自由に言えること」や「心や体が十分に成長する教育を受けること」を選択した割合は保護者の方が高かった。

また、子どもの学年別回答では、「自分の意見を自由に言えること」を選択した割合が、小学生23%、中学生32%に比べ、高校生では41%と高かった。

<大切だと思う「子どもの権利」上位5つ>

子ども			保護者		
1	安心して生きること	58%	1	安心して生きること	63%
2	差別されないこと	55%	2	自分の意見を自由に言えること	55%
3	悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと	45%	3	差別されないこと	54%
4	戦争に巻き込まれないで平和に生活すること	41%	3	心や体が十分に成長する教育を受けること	54%
5	愛されて幸せに生活を送ること	40%	5	愛されて幸せに生活を送ること	41%





(3) 「守られていないこと」があると思う子どもの権利

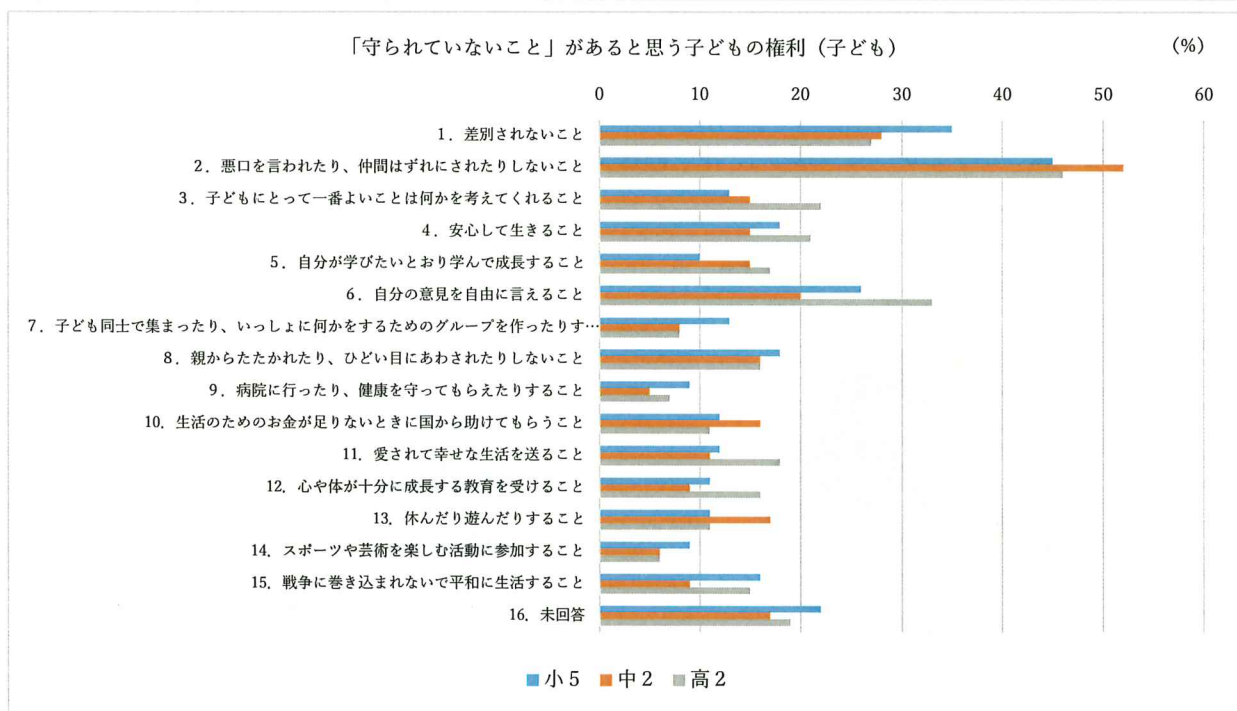
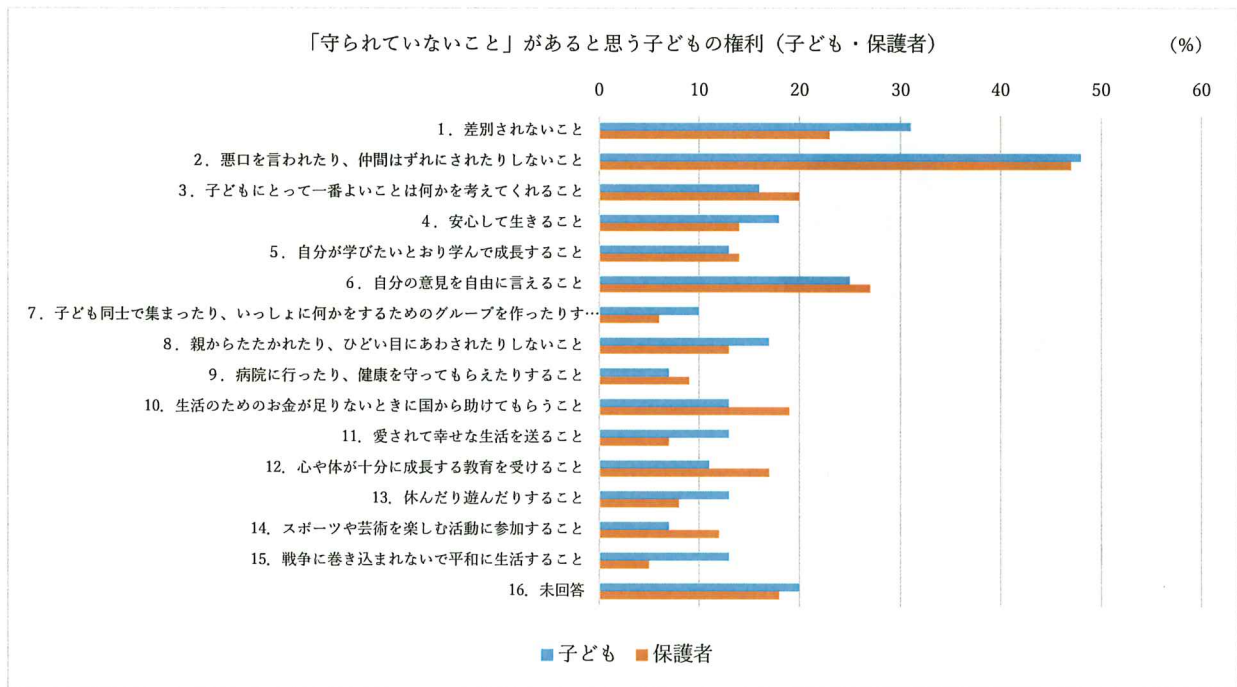
3. あなた自身やあなたの周りで、守られていないことがあると思う子どもの権利を選んでください。
(いくつでも)

子ども、保護者ともに「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと」と選択した人の割合が5割弱と最も高く、その他、「差別されないこと」「自分の意見を自由に言えること」の割合が高かった。

子どもの学年別回答においても、「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと」がどの学年においても最も高かった。

<「守られていないこと」があると思う子どもの権利 上位5つ>

子ども			保護者		
1	悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと	48%	1	悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと	47%
2	差別されないこと	31%	2	自分の意見を自由に言えること	27%
3	自分の意見を自由に言えること	25%	3	差別されないこと	23%
4	未回答	20%	4	子どもにとって一番よいことは何かを考えてくれること	20%
5	安心して生きること	18%	5	生活のためのお金が足りないときに国から助けてもらうこと	19%

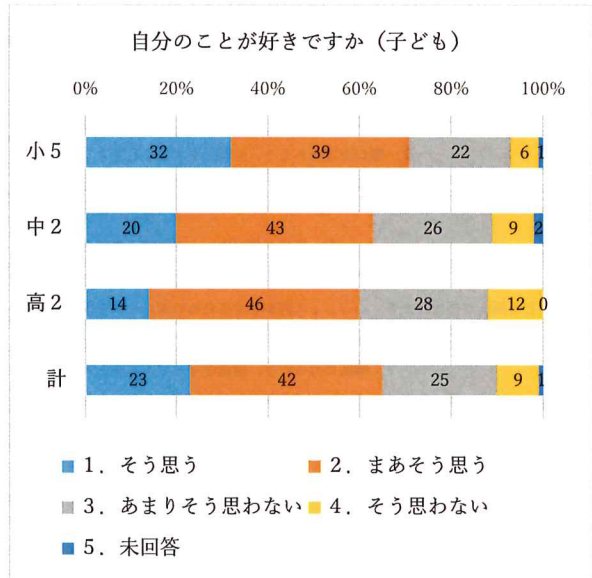
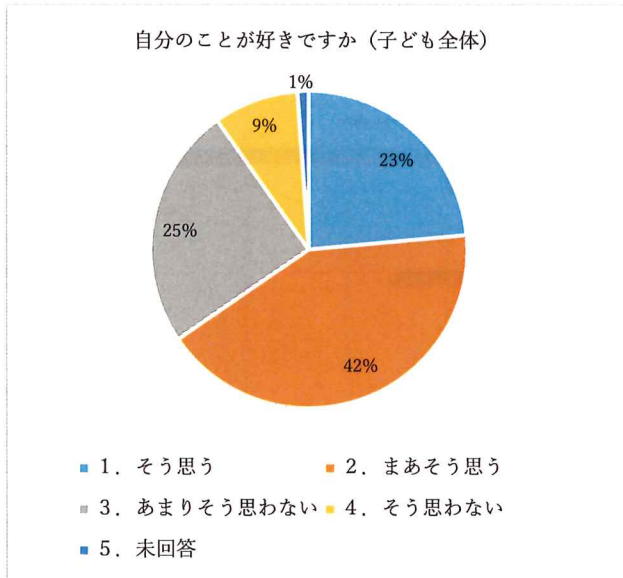


(4) 自己肯定感

4. あなたは自分のことが好きですか (子どものみ回答)

全体では、「そう思う」(23%)、「まあそう思う」(42%)、「あまりそう思わない」(25%)、「そう思わない」(9%)という結果であり、肯定的な回答(「そう思う」「まあそう思う」)は65%であった。

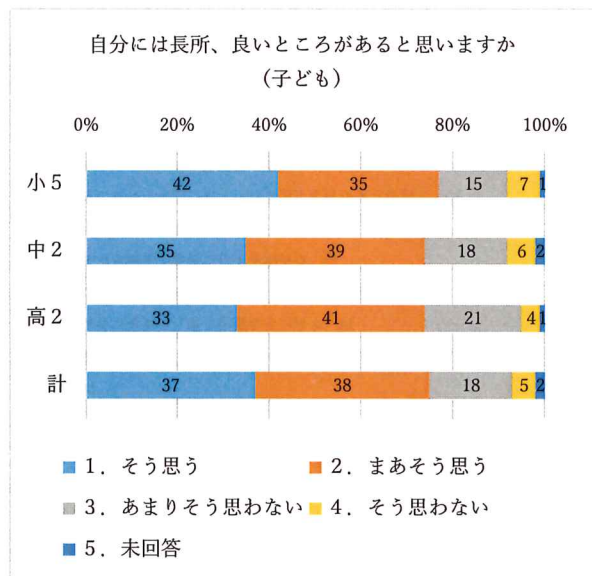
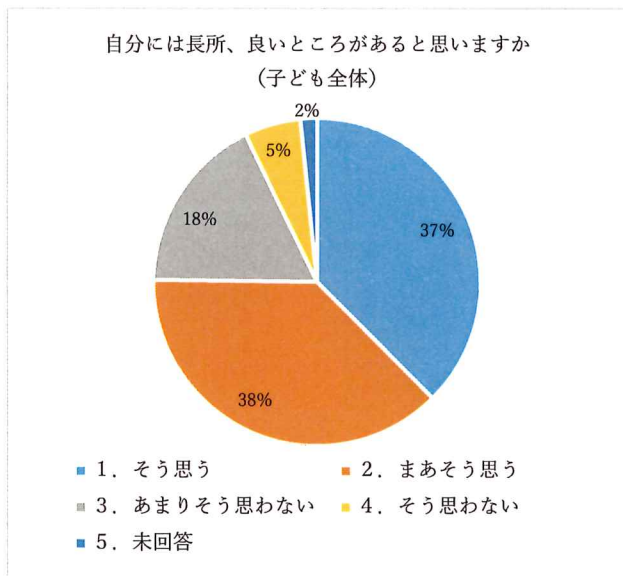
学年別回答では、どの学年も「まあそう思う」と回答した割合が最も高かった。また、「そう思わない」と回答した割合は高校生が最も多く、学年が進む程、その割合が高くなる傾向にあった。



5. あなたは、自分には長所、良いところがあると思いますか (子どものみ回答)

全体では、「そう思う」(37%)、「まあそう思う」(38%)、「あまりそう思わない」(18%)、「そう思わない」(5%)という結果であり、肯定的な回答(「そう思う」「まあそう思う」)は75%であった。

学年別回答では、小学生が「そう思う」、中・高校生は「まあそう思う」と回答した割合が最も高かった。

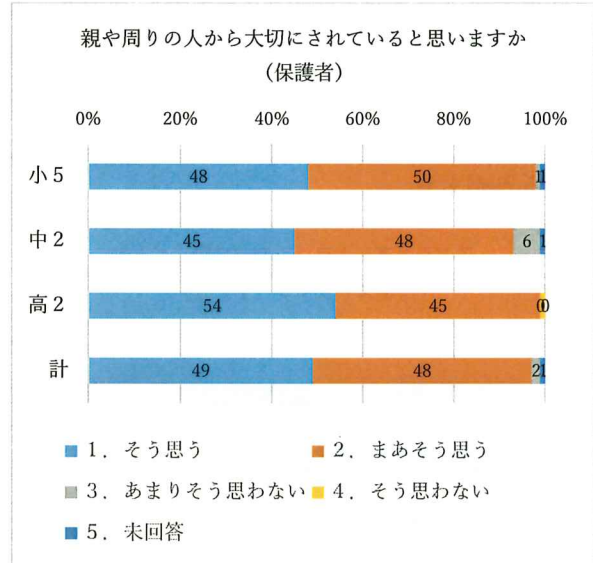
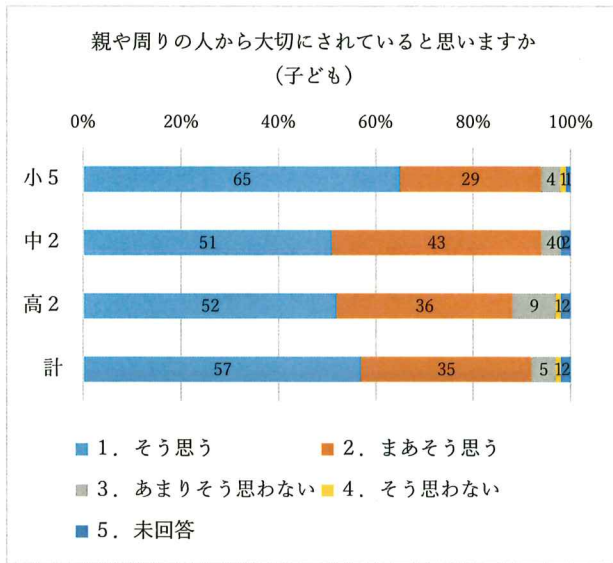


6. あなた(の子ども)は、自分の親など周りの人から大切にされていると思いますか

子どもは「そう思う」(57%)と回答した割合が最も多く、「まあそう思う」(35%)と合わせると、92%の子どもが肯定的な回答だった。また、どの学年においても「そう思う」が最も高かった。

保護者においても「そう思う」(49%)と回答した割合が最も高く、「まあそう思う」(48%)と合わせて97%の保護者が肯定的な回答だった。

子どもと保護者の回答を比較すると、「そう思う」と回答した割合が保護者よりも子どもの方が高かった。

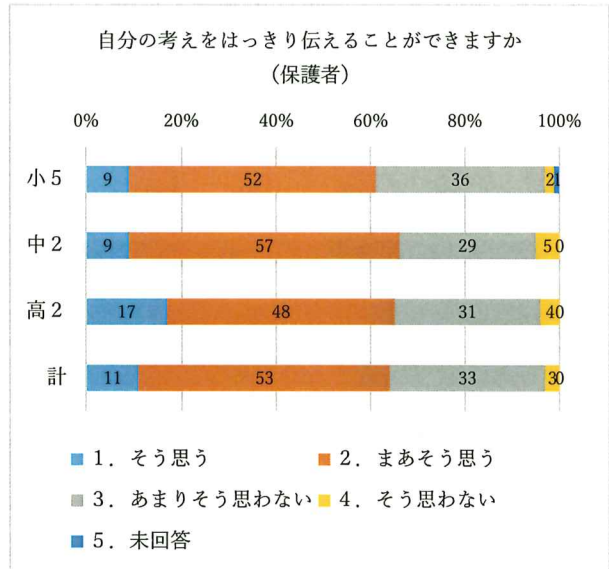
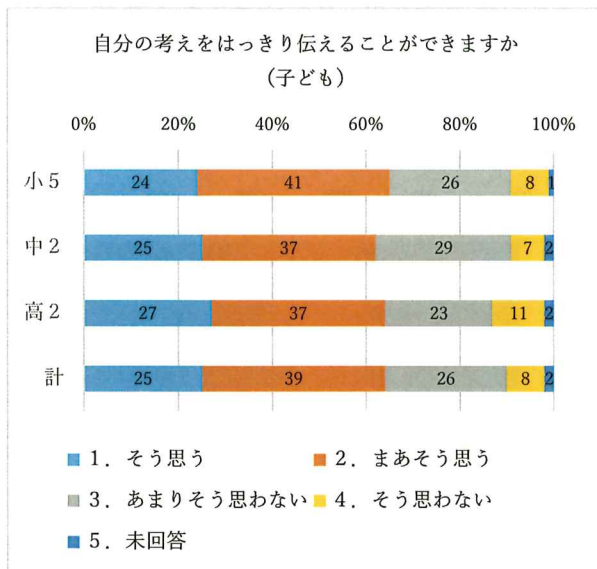


(5) 子どもの意見表明と子どもの意見を聴くこと

7. あなた（の子ども）は、自分の考えを相手にはっきり伝えることができますか

子ども、保護者ともに「まあそう思う」と回答した割合が最も高く、次いで「あまりそう思わない」「そう思う」「そう思わない」と続いた。学年別回答においてもほぼ同様の結果であったが、高校生においては、「あまりそう思わない」よりも「そう思う」と回答した割合が高かった。

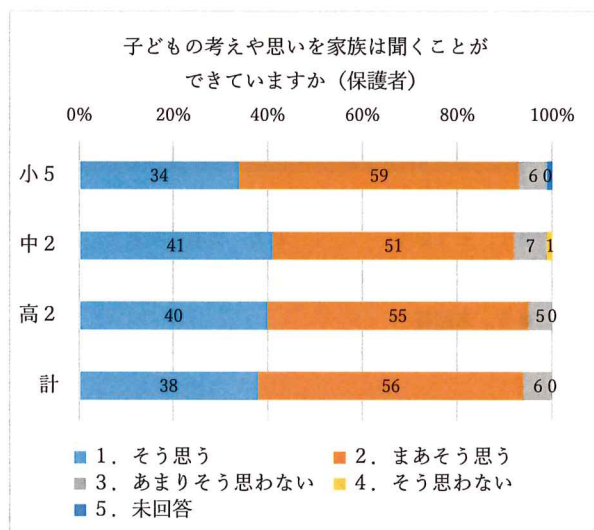
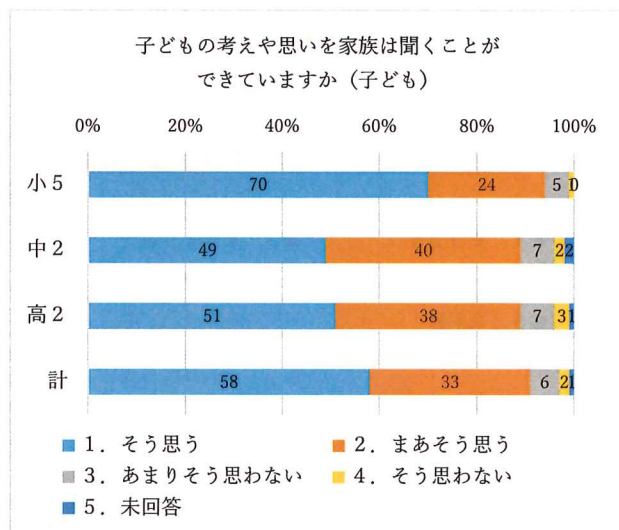
子どもと保護者の回答を比較すると、「そう思う」と回答する割合が保護者よりも高く「あまりそう思わない」と回答する子どもの割合は、保護者よりも低い傾向にあった。保護者が思うよりも、子どもは自分の考えを伝えることができると思っている様子が見えられた。



8. 家族は、あなた（の子ども）の考えや思っていることを聞いてくれますか

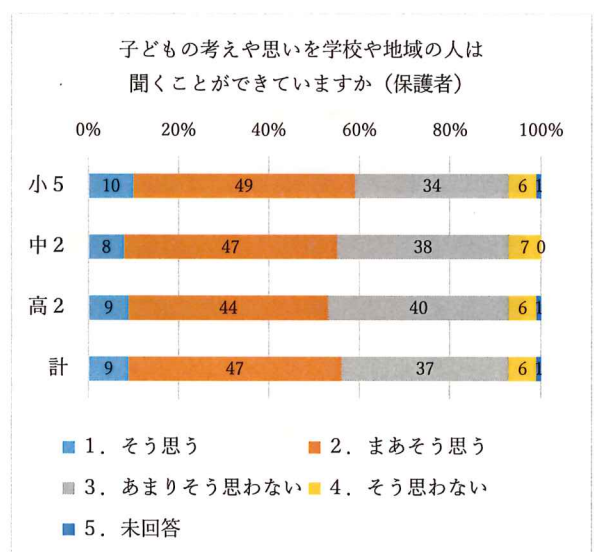
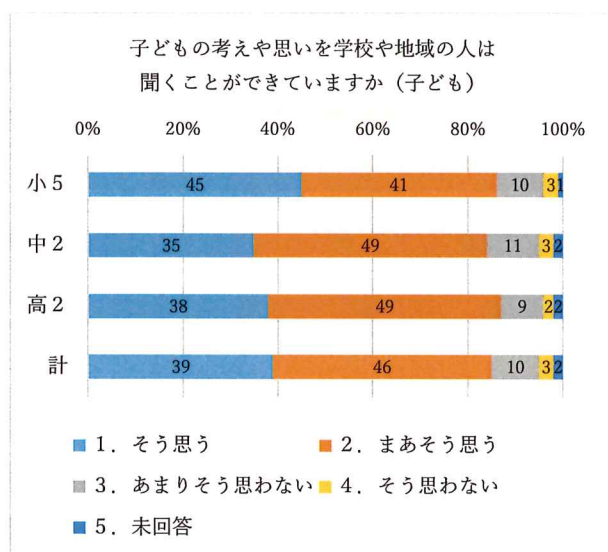
子どもは「そう思う」（58％）と回答した割合が最も高く、「まあそう思う」（33％）と続いた。

保護者は「まあそう思う」（56％）と回答した割合が最も高く、「そう思う」（38％）と続いた。肯定的な意見（「そう思う」「まあそう思う」）の合計割合においては子どもと保護者に大きな乖離はなかったが、「そう思う」と「まあそう思う」のそれぞれの割合では、子どもの方が「そう思う」と回答した割合が高く、保護者が思うよりも、子どもは家族に自分の考えや思いを聞いてもらっていると感じている様子がうかがえた。



9. 家族以外の大人（学校の先生や地域の人など）は、あなた（の子ども）の考えや思っていることを聞いてくれますか

子ども、保護者とも「まあそう思う」と回答した割合が最も高く5割弱であった。次いで回答割合の高かった「そう思う」の割合は、子どもが39％に対し保護者は9％と差があり、また、「あまりそう思わない」の回答割合でも、子どもが10％に対し保護者が37％と差があった。子どもは、保護者が思っているより、自分の考えや思いを学校や地域の人に聞いてもらっていると思っている様子がうかがえた。

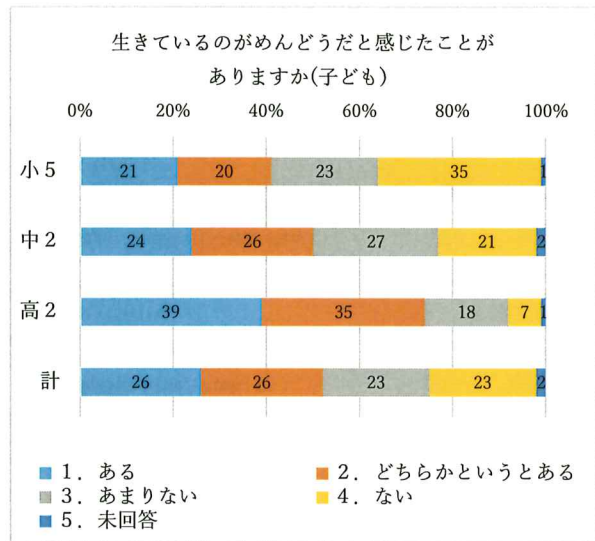
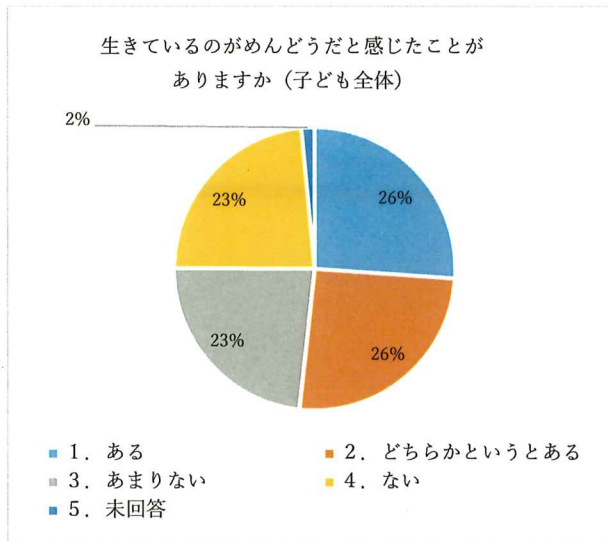


(6) 気持ち・今打ち込んでいること・将来のこと

10. あなたは、これまで生きてるのがめんどろだと感じたことがありますか (子どものみ回答)

全体では「ある」と「どちらかというところ」と回答した割合が高く、ともに26%、次いで「あまりない」「ない」と続き、ともに23%という結果であった。

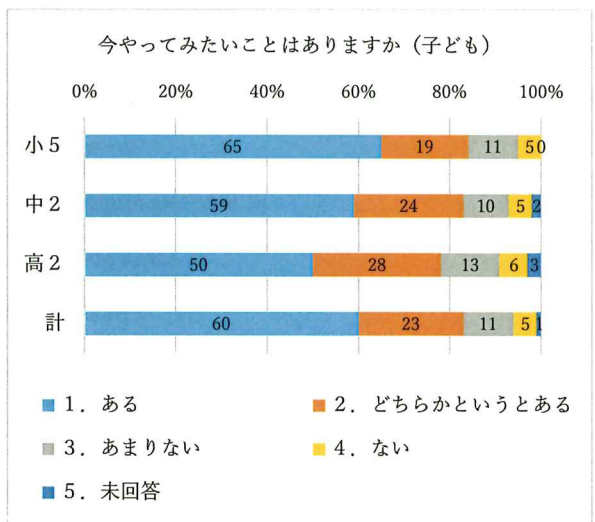
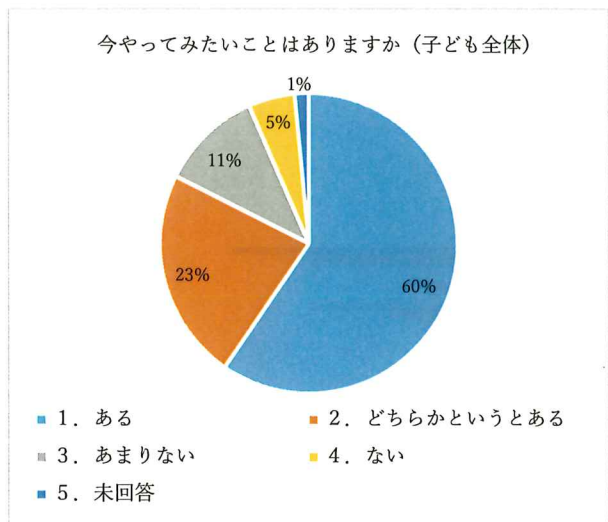
学年別では、小学生は「ない」と回答した割合が最も高く35%、中学生は「あまりない」が最も高く27%、高校生は「ある」が最も高く39%であった。学年が進むにつれ、生きてるのがめんどろだと感じたことのある者の割合が高くなっていった。



11. あなたは、今、やってみたいことがありますか (子どものみ回答)

全体では「ある」と回答した割合が最も高く60%、次いで「どちらかというところ」23%、「あまりない」11%「ない」5%と続いた。

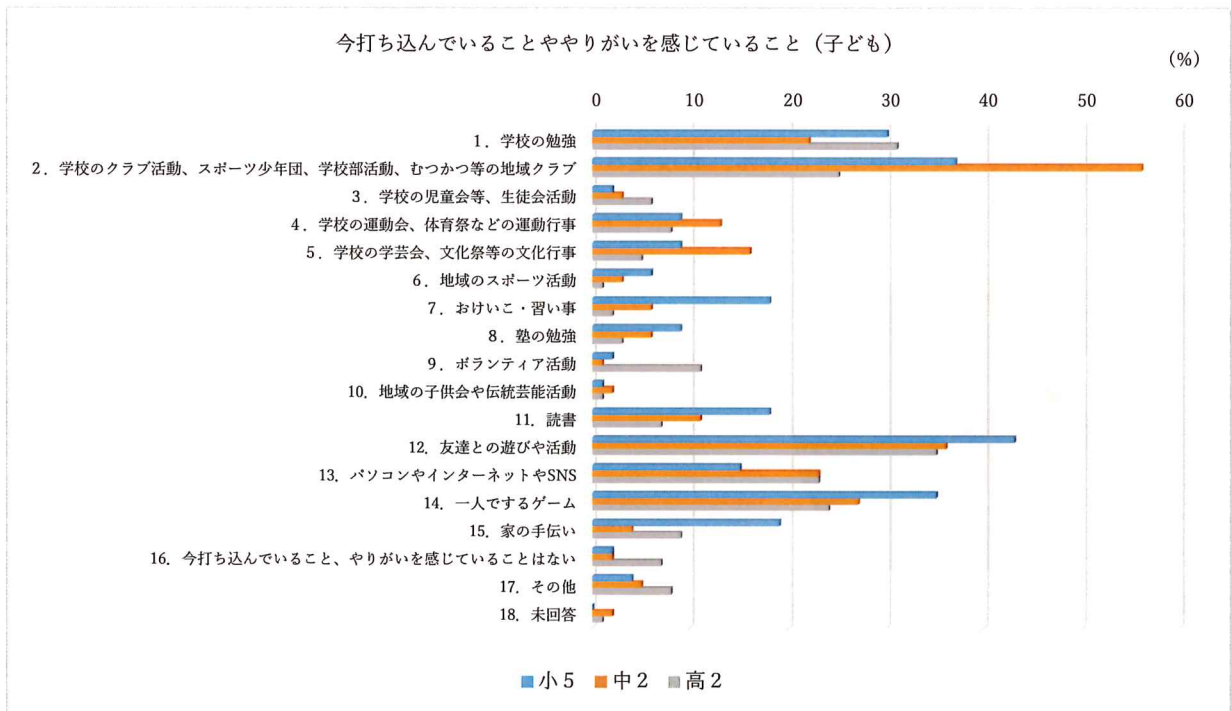
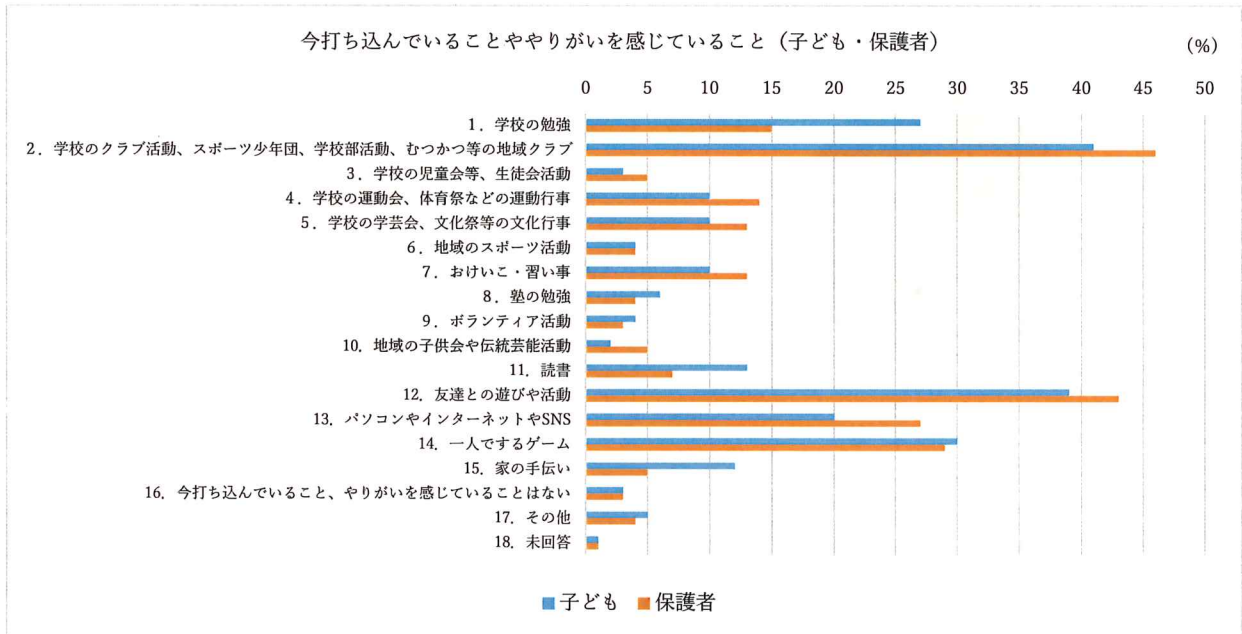
学年別では、どの学年でも「ある」と回答した割合が最も高く5割を超えていた。割合が最も高かったのは小学生で65%、次いで中学生59%、高校生50%と続いた。



12. あなた（の子ども）が「今、打ち込んでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか（3つまで）

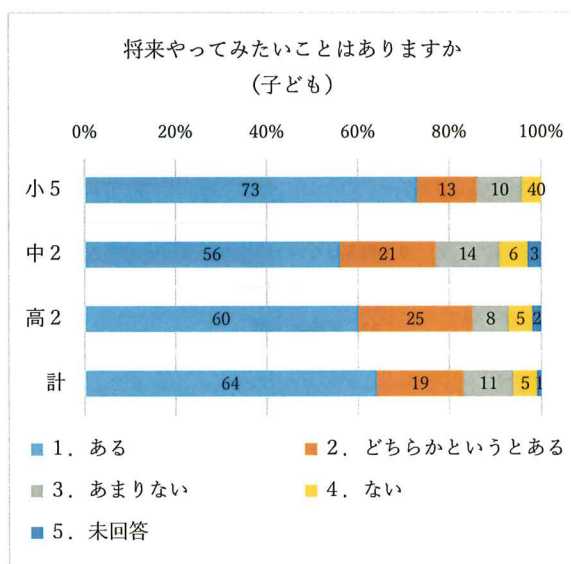
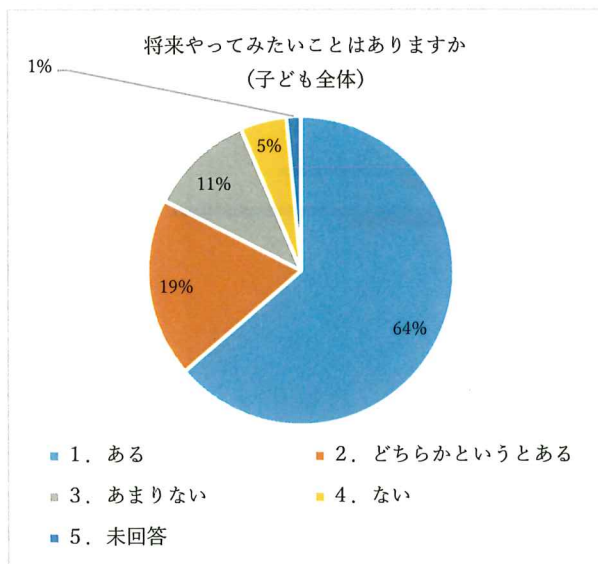
子どもは「学校のクラブ活動、スポーツ少年団、学校部活動、むつかつ等の地域クラブ」（41％）と回答する割合が最も高く、次いで「友達との遊びや活動」（39％）、「一人でするゲーム」（30％）と続いた。学年別では、小学生と高校生は「友達との遊びや活動」が、中学生は「学校のクラブ活動、スポーツ少年団、学校部活動、むつかつ等の地域クラブ」の回答割合が最も高く、友達との時間やクラブ活動等を大切にしている様子がうかがえた。また、高校生では「学校の勉強」が上位にあがっていた。

保護者においても、「学校のクラブ活動、スポーツ少年団、学校部活動、むつかつ等の地域クラブ」（46％）が最も高く、次いで「友達との遊びや活動」（43％）と続き、子どもの回答と同様であった。一方、「学校の勉強」については保護者よりも子どもの回答割合が高かった。



13. あなたは、将来、やってみたいことがありますか（子どものみ回答）

子ども全体では「ある」が最も多く64%、次いで「どちらかというところ」19%、「あまりない」11%と続いた。学年別においても「ある」がどの学年でも最も多かった。



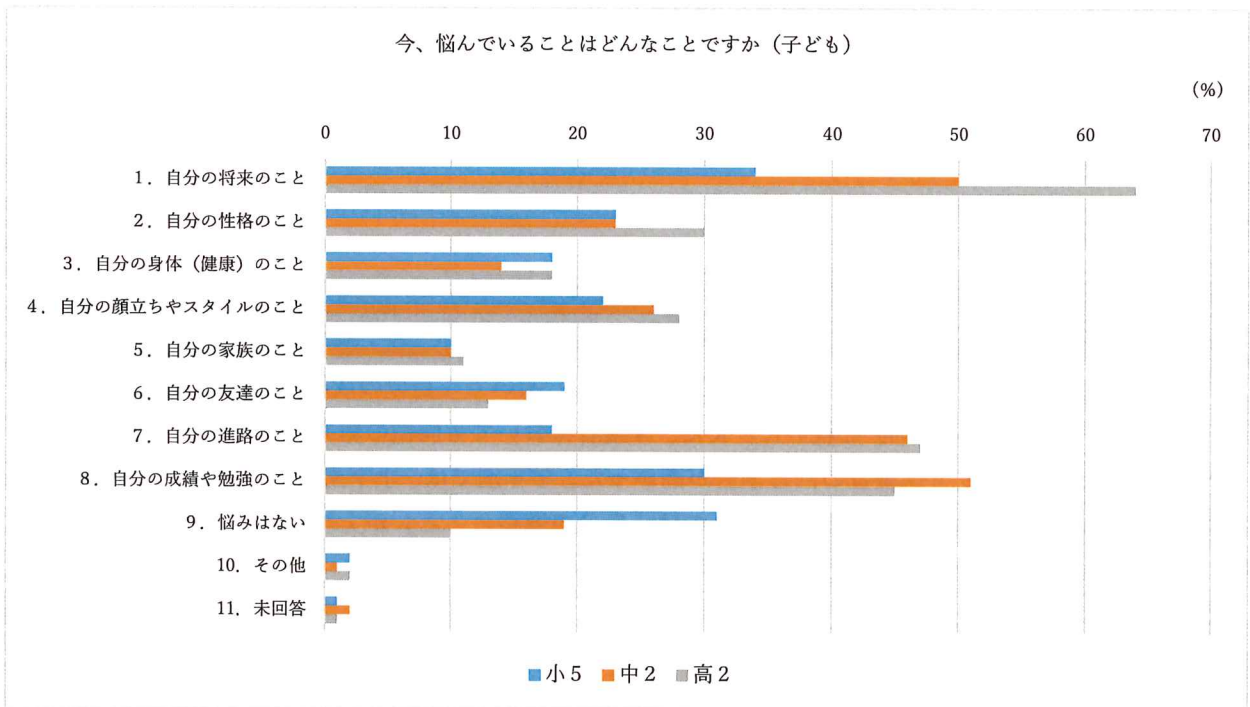
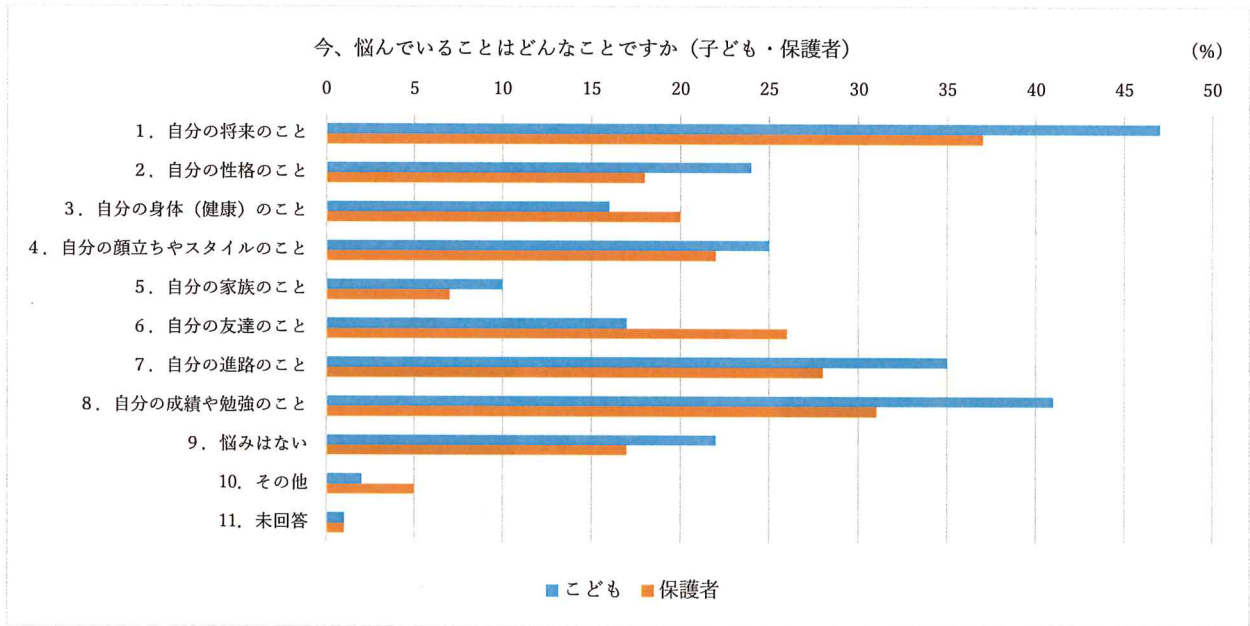
(7) 悩み・困っていること・つらいこと

14. 今、あなた（の子ども）が、悩んでいることはどんなことですか（いくつでも）

子どもは、「自分の将来のこと」（47%）が最も高く、次いで「自分の成績や勉強のこと」（41%）「自分の進路のこと」（35%）と続いた。また、保護者においても同様の結果だったが、「友達のこと」については、子どもよりも保護者の回答割合が高かった。学年別では、小学生が中・高校生に比べ「悩みはない」と回答する割合が高く、中・高校生では「自分の進路のこと」が上位にあがっていた。

今、悩んでいること 上位5つ

子ども			保護者		
1	自分の将来のこと	47%	1	自分の将来のこと	37%
2	自分の成績や勉強のこと	41%	2	自分の成績や勉強のこと	31%
3	自分の進路のこと	35%	3	自分の進路のこと	28%
4	自分の顔立ちやスタイルのこと	25%	4	自分の友達のこと	26%
5	自分の性格のこと	24%	5	自分の顔立ちやスタイルのこと	22%



15. 今、あなた (の子ども) が、困っていること、つらいと感じていることはありますか (いくつかでも)

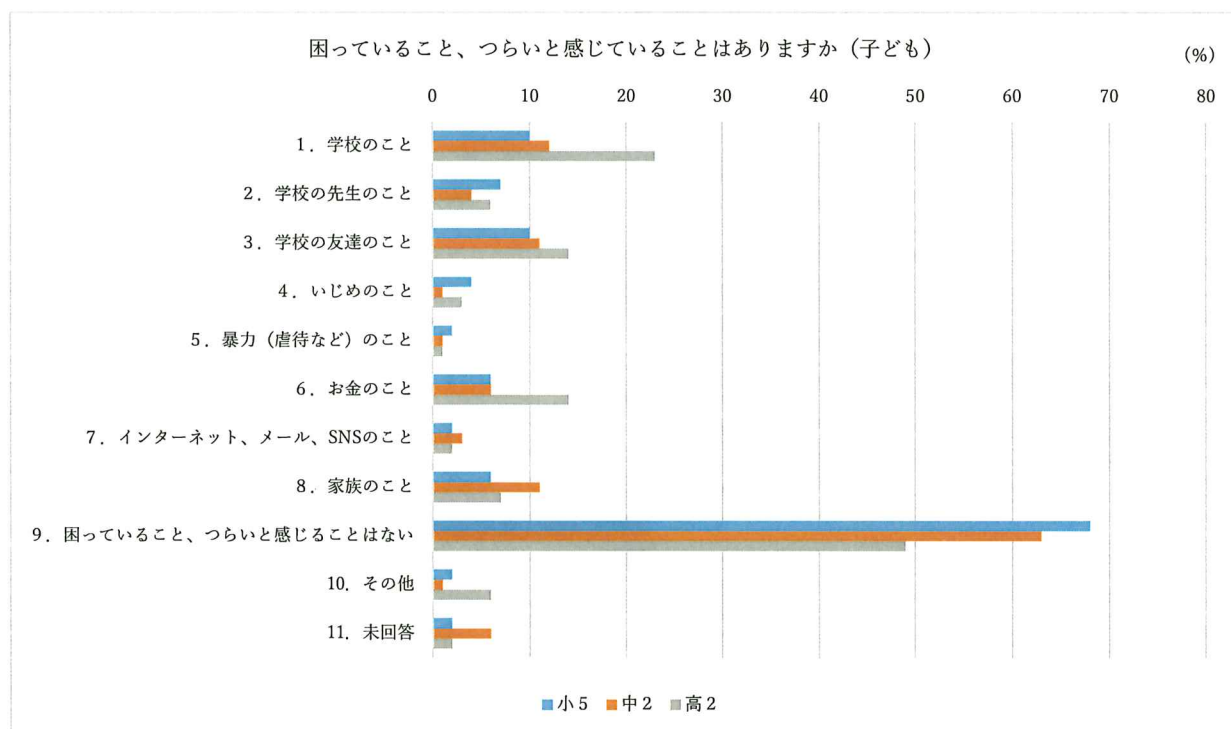
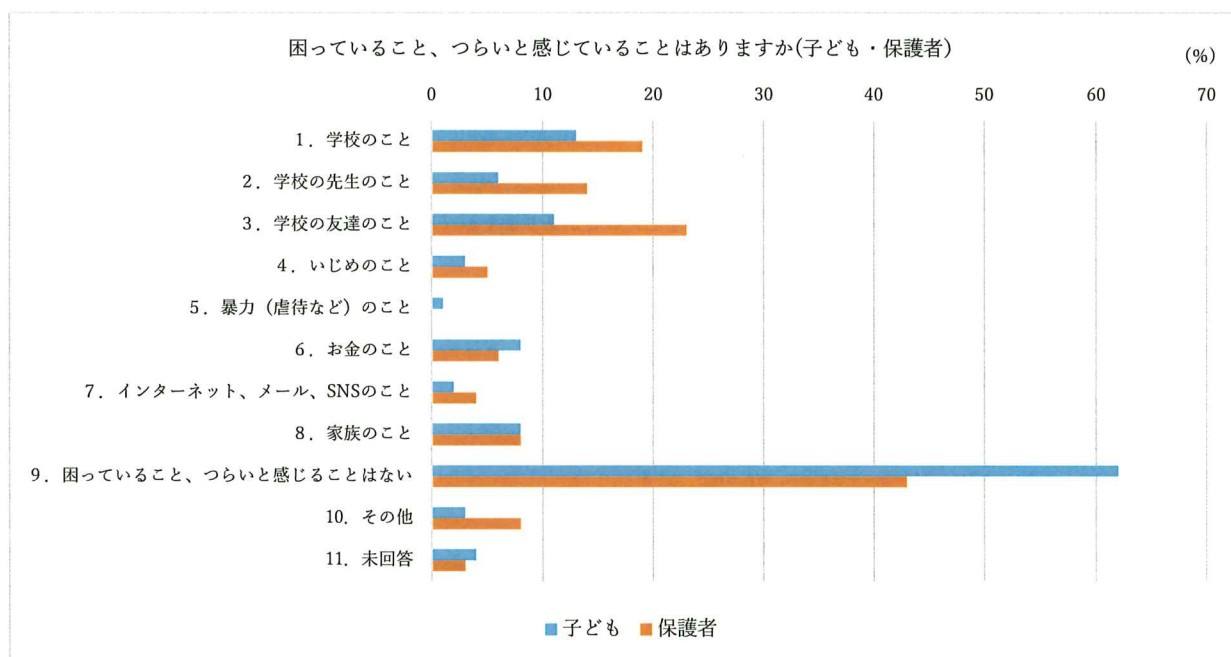
子どもは、「困っていること、つらいと感じることはない」(62%)と回答した割合が最も高く、次いで「学校のこと」(13%)、「学校の友達のこと」(11%)と続いた。この順番は、子どものどの学年にも共通であった。

保護者においても「困っていること、つらいと感じることはない」(43%)と回答した割合が最も高く、次いで「学校の友達のこと」(23%)「学校のこと」(19%)と続いた。

子どもと保護者を比較すると、「学校の友達のこと」や「学校の先生のこと」を選択した割合が、子どもより保護者の方が高かった。

<困っていること、つらいと感じていること 上位5つ>

子ども			保護者		
1	困っていること、つらいと感じることはない	6.2%	1	困っていること、つらいと感じることはない	4.3%
2	学校のこと	1.3%	2	学校の友達のこと	2.3%
3	学校の友達のこと	1.1%	3	学校のこと	1.9%
4	お金のこと	8%	4	学校の先生のこと	1.4%
4	家族のこと	8%	5	家族のこと・その他	8%



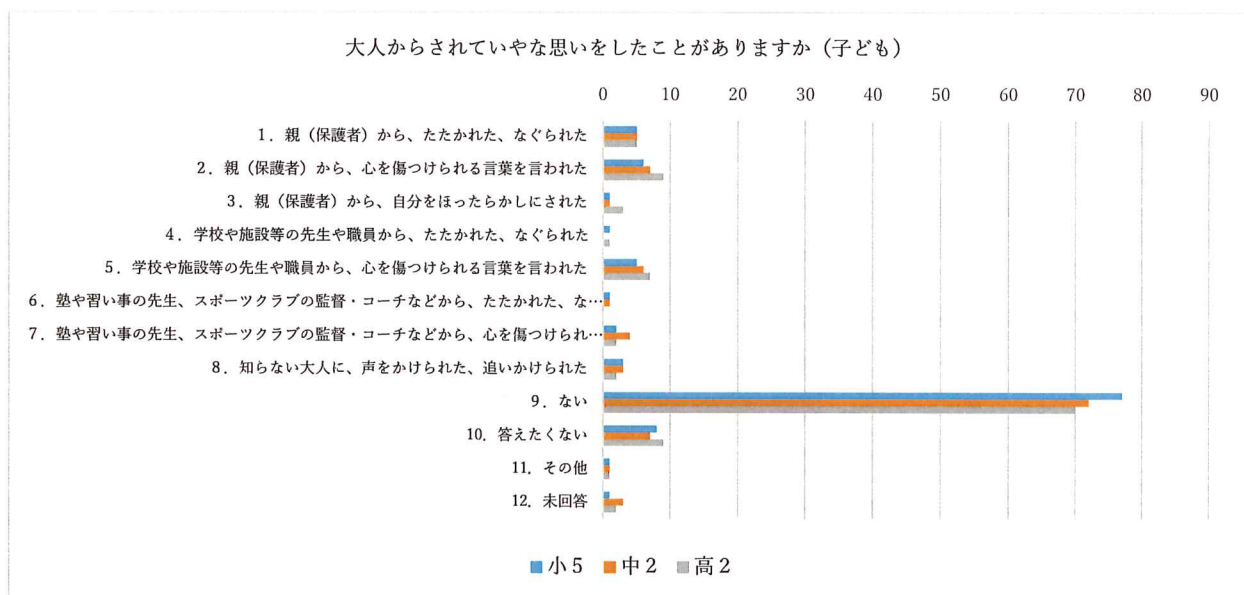
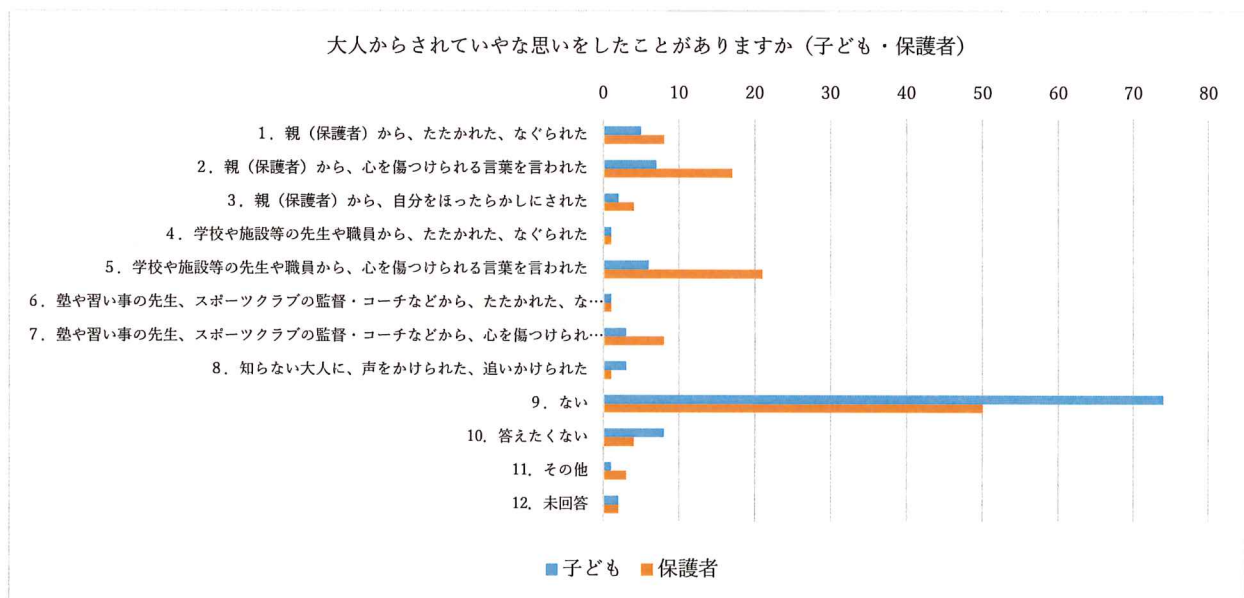
(7) いやな思いをしたこと

16. あなた(の子ども)は、これまで、大人からされて「いやな思い」をしたことはありますか(いくつでも)

子どもは、「ない」(74%)と回答した割合が最も高く、次いで「答えたくない」(8%)、「親(保護者)から心を傷つけられる言葉を言われた」(7%)と続いた。「答えたくない」と回答した割合は、どの学年においても1割弱あり、子どもの心情が察せられた。

保護者においても、「ない」(50%)と回答した割合が最も高く、次いで、「学校や施設等の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われた」(21%)「親(保護者)から心を傷つけられる言葉を言われた」(17%)と続いた。

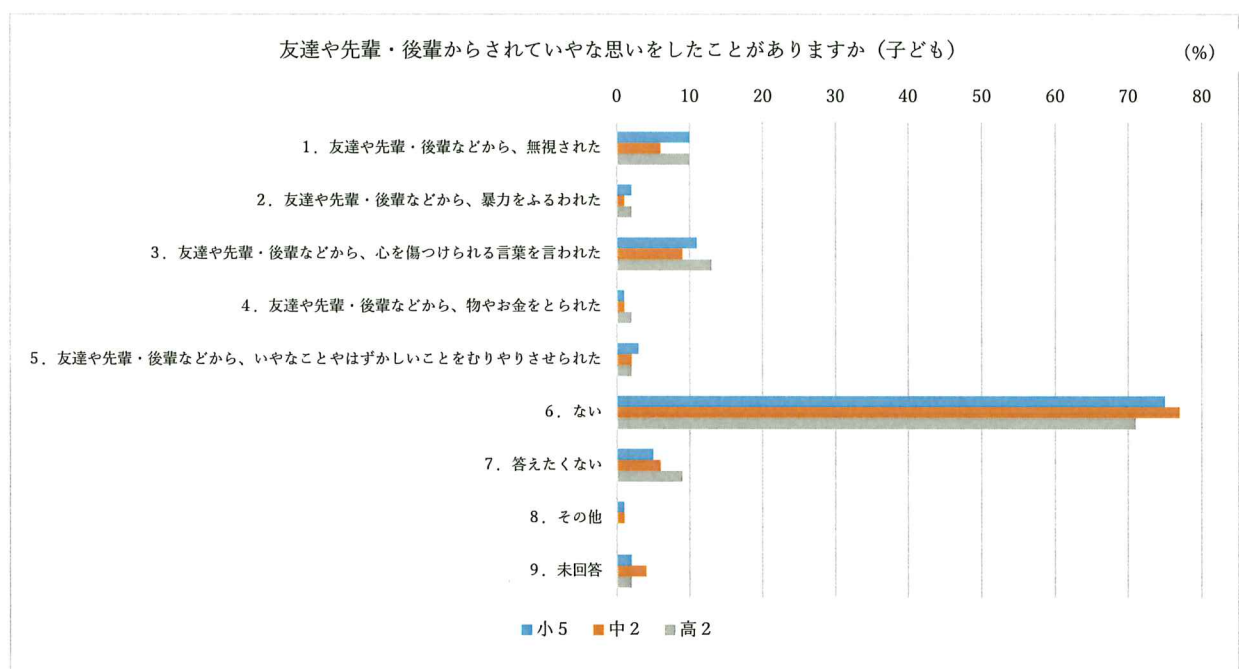
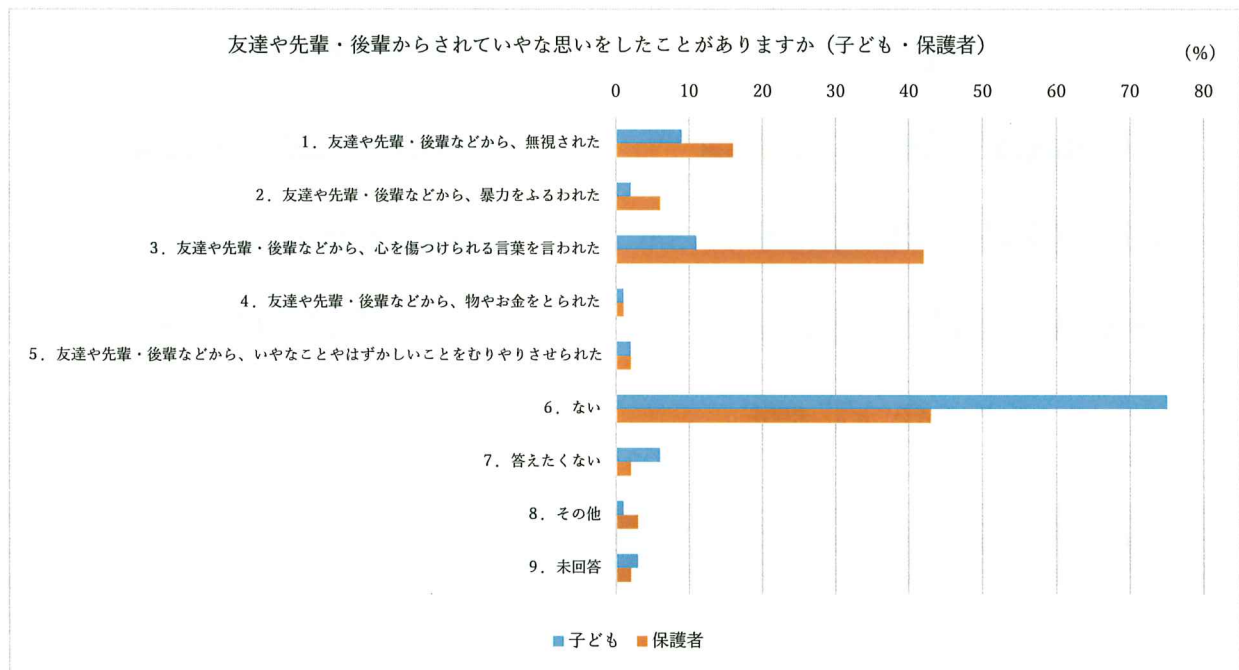
子どもと保護者を比較すると、「ない」と回答した子どもの割合は保護者より高く、「学校や施設等の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われた」「親(保護者)から心を傷つけられる言葉を言われた」と回答した子どもの割合は、保護者より低かった。



17. あなた(の子ども)は、これまで、友達や先輩・後輩からされて「いやな思い」をしたことはありますか (いくつでも)

子どもは、「ない」(75%)と回答した割合が最も高く、次いで「友達や先輩・後輩から心を傷つけられる言葉を言われた」(11%)「友達や先輩・後輩から無視された」(9%)と続き、学年別においても同様の順位であり、割合においても同様の結果であった。

保護者においても「ない」(43%)と回答した割合が最も高く、次いで「友達や先輩・後輩から心を傷つけられる言葉を言われた」(42%)「友達や先輩・後輩から無視された」(16%)という結果であった。子どもと保護者を比較すると、選択された項目は同じだが、割合に差が見られた。「ない」と回答した割合は、子どもが保護者よりも高く、「友達や先輩・後輩から心を傷つけられる言葉を言われた」「友達や先輩・後輩から無視された」と回答した割合は、子どもが保護者よりも低かった。

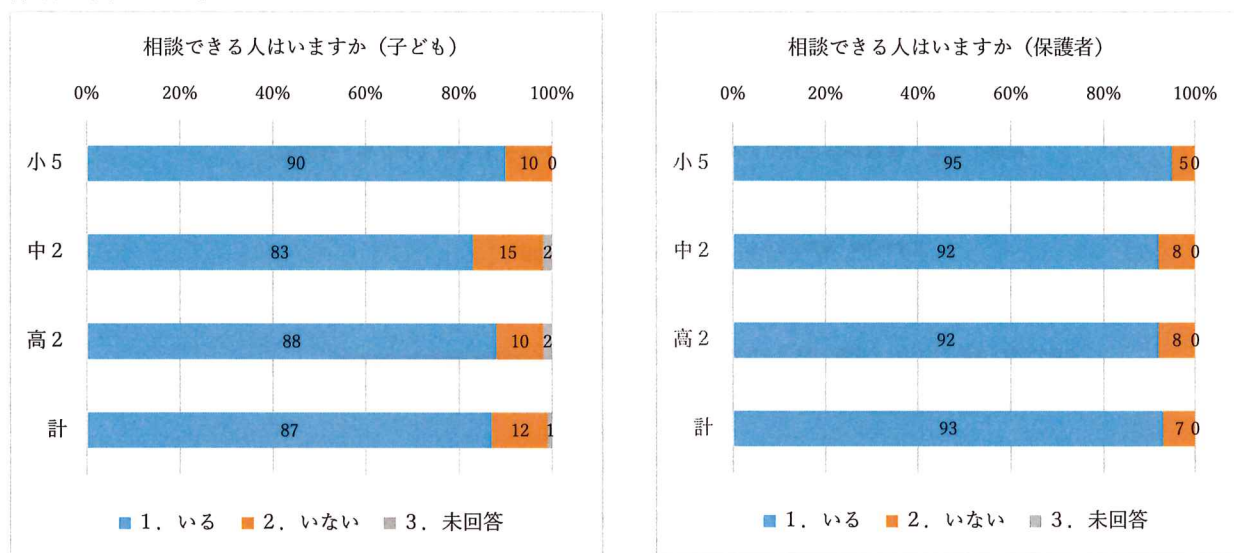


(8) 悩みや困っていることへの対応

18. あなた(の子ども)は、悩んでいること、困っていることを相談できる人はいますか

子どもは、「いる」(87%)、「いない」(12%)という結果であった。どの学年においても「いる」と回答した割合は高いが、「いない」と回答した割合も10~15%あり、一定割合の子どもが悩みや困り事に対して相談できる人がいないという状況だった。

保護者は、「いる」(93%)、「いない」(7%)という結果であり、子どもよりも「いる」と回答する割合が高かった。



19. 相談できる人は誰ですか (いくつでも)

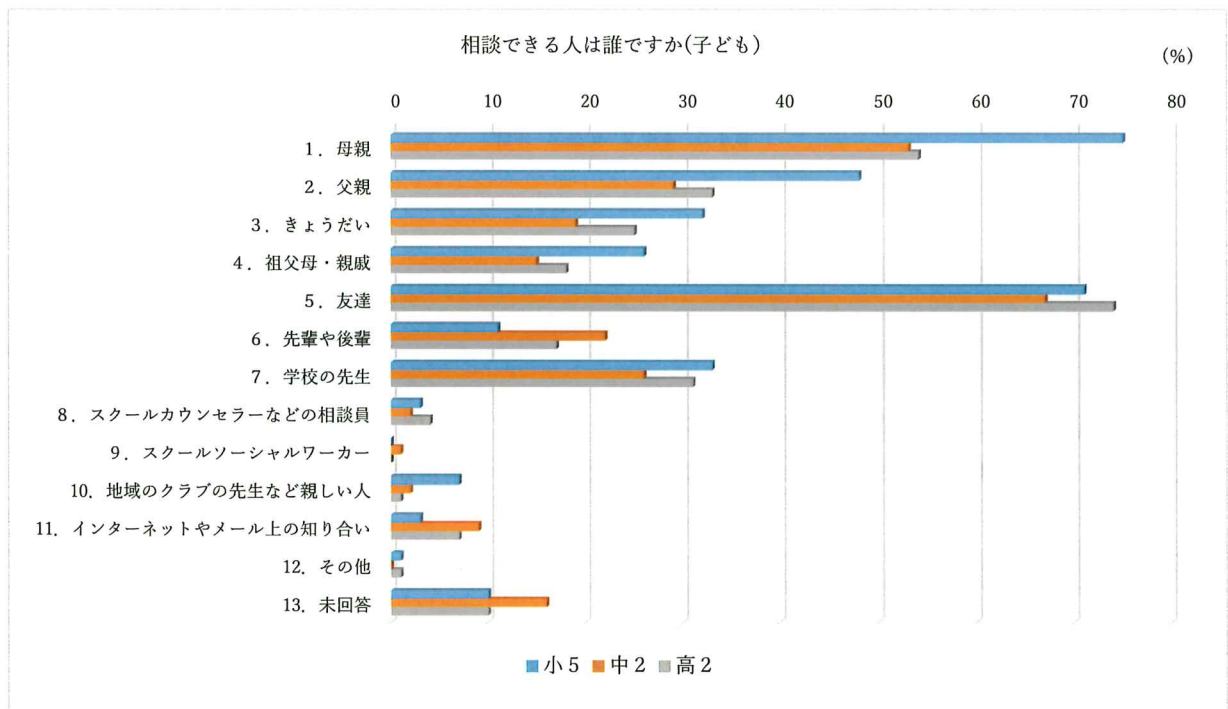
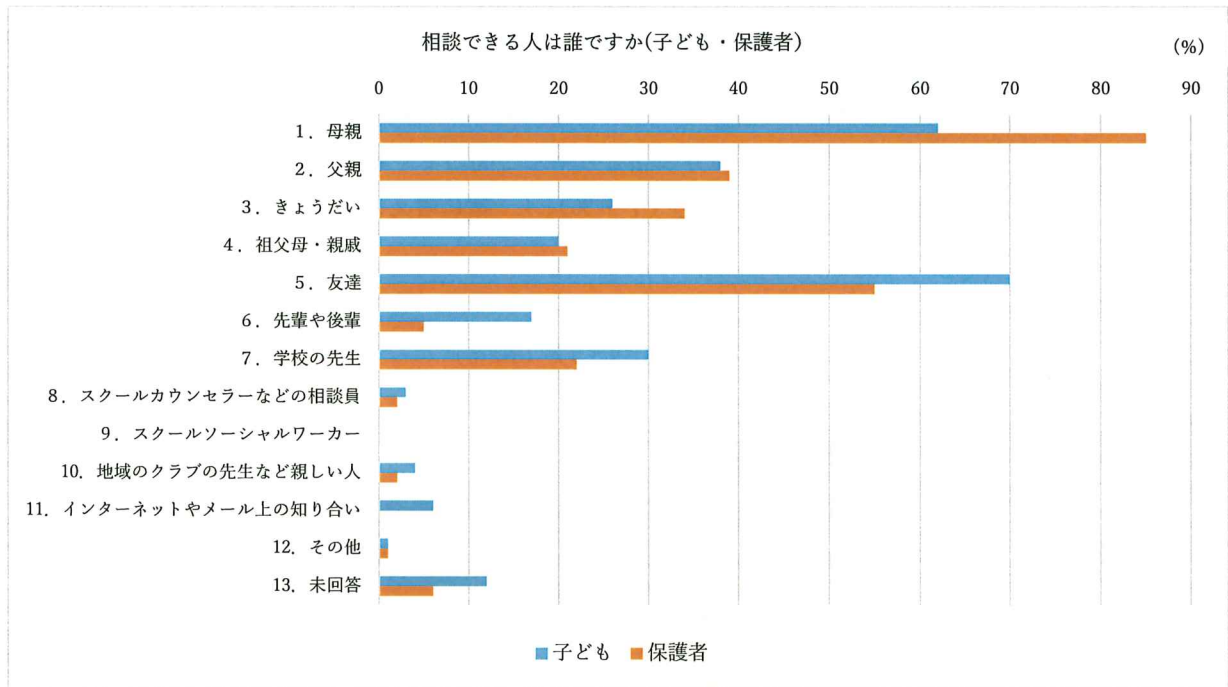
子どもは「友達」(70%)と回答した割合が最も多く、次いで「母親」(62%)、「父親」(38%)という結果であった。また、その他、祖父母・親戚、先輩・後輩など、身近な人が選択されている傾向にある一方、「インターネットやメール上の知り合い」を選択した者の割合は、小学生が3%、中学生が9%、高校生が7%という結果だった。

保護者は「母親」(85%)が最も多く、次いで「友達」(55%)、「父親」(39%)という結果であった。

子どもと保護者の回答を比較すると、子どもは保護者よりも「母親」と回答する割合が低く、「友達」や「学校の先生」と回答する割合が高かった。

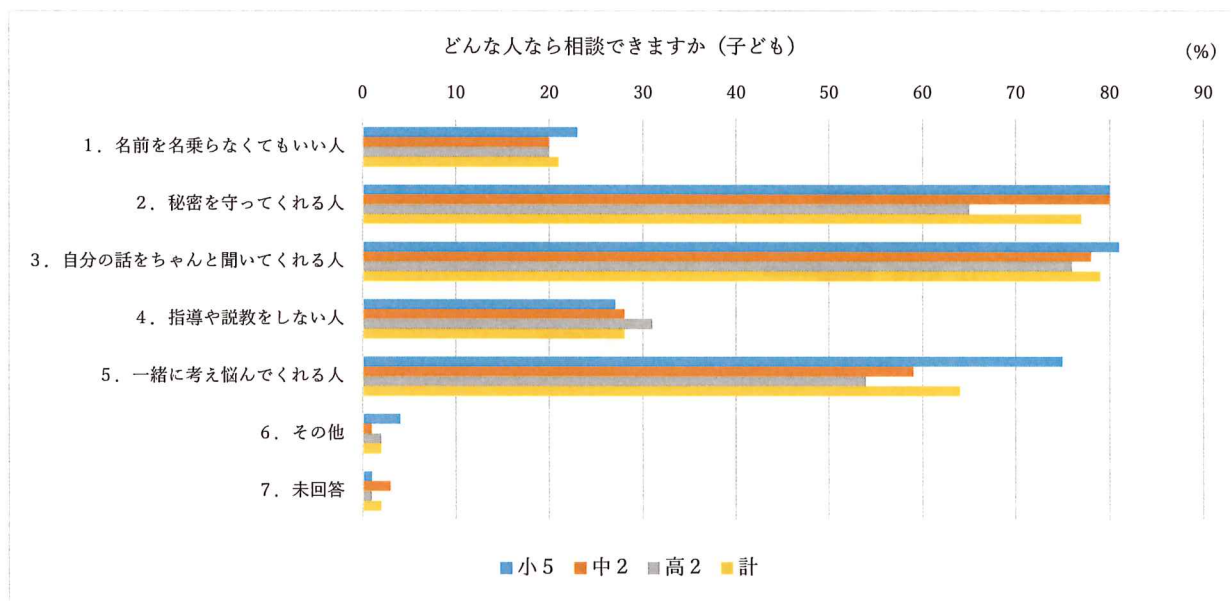
<相談できる人 上位5つ>

子ども			保護者		
1	友達	70%	1	母親	85%
2	母親	62%	2	友達	55%
3	父親	38%	3	父親	39%
4	学校の先生	30%	4	きょうだい	34%
5	きょうだい	26%	5	学校の先生	22%



20. あなたは、もし相談するとしたら、どんな人なら相談できますか(子どものみ回答)
(いくつでも)

全体では、相談相手に望むこととして「自分の話をちゃんと聞いてくれる人」(79%)と回答した割合が最も高く、次いで「秘密を守ってくれる人」(77%)、「一緒に考え悩んでくれる人」(64%)であった。



21. 子どもの悩みや困りごとの相談先として、あなたが知っているのはどれですか
(いくつでも)

子ども、保護者共に「24時間子ども SOS ダイヤル」「子どもの人権110番」と回答した割合が高かった。子どもの学年別の回答においても、この2項目を回答した割合が高かった。

相談先として知っているもの 上位5つ

子ども			保護者		
1	24時間子ども SOS ダイヤル (青森県教育庁)	48%	1	子どもの人権110番 (青森地方法務局)	42%
2	子どもの人権110番 (青森地方法務局)	41%	2	24時間子ども SOS ダイヤル (青森県教育庁)	39%
3	みんなの人権110番 (青森地方法務局)	18%	3	子ども虐待ホットライン (青森県)	24%
4	子どもの人権 SOS ミニレター (法務省)	14%	4	教育相談 (むつ市教育研修センター)	23%
4	教育相談 (むつ市教育研修センター)	14%	5	子どもの人権 SOS ミニレター (法務省)	21%

(こども)

あなたが、むつ市や大人に「やってほしいこと」や「こんなことができたらいいな」と思うことがあったら自由に書いてください

内 容	件 数			
	小5	中2	高2	計
1. 環境・暮らしに関すること	111	57	20	188
① 遊び場について	12	19	3	34
② 商業施設等について	20	4	6	30
③ 公園について	11	2	0	13
④ スポーツ施設について	14	4	2	20
⑤ 道路・交通について	4	7	1	12
⑥ その他（施設等の整備について）	10	9	1	20
⑦ 自然環境・生活環境の保全	11	5	4	20
⑧ 安全安心・住みやすいまち	29	7	3	39
2. 学校に関すること	46	28	1	75
① 勉強について	8	2	0	10
② 施設について	24	21	0	45
③ 先生について	2	1	1	4
④ その他	12	4	0	16
3. 子どもの権利に関すること	34	17	3	54
① いじめ・差別・虐待について	19	7	1	27
② 子どもの意見の尊重・大人の対応について	9	7	1	17
③ 相談場所・居場所について	6	3	1	10
4. その他	46	23	6	75
合 計	237	125	30	392

むつ市や大人に「やってほしいこと」や「こんなことができたらいいな」と思うこと

アンケートで多かった意見や特徴的な意見を抜粋して掲載しています。
意見の集約や個人の特定防止のために一部抜粋や表現の変更をして掲載しておりますので、ご了承ください。

1. 環境・くらしに関すること		学年
①遊び場について	子ども達が遊べる場所を増やしてほしい。	小5
	みんなが楽しめる施設を建ててほしい。	小5
	もう少し学生が楽しめるような場所を増やしてほしい。	中2
	遊べる居場所がほしい。	中2
	レジャー施設ができたらいいな～と思います。	中2
	高校生が楽しめる場所をもっと作ってほしいなとずっと思っています。	高2
②商業施設等について	大きいショッピングモールをつくってほしい。	小5
	買い物ができたり、楽しく過ごせたりする場所を作ってほしいです。	小5
	フードコートを作って欲しい。	中2
	家族みんなで楽しめる施設やデパートを建ててほしい。	高2
	娯楽施設を増やしてほしい。	高2
③公園について	公園を増やしてほしい。	小5
	新しい公園を作って欲しい。	小5
	友達みんなで遊べるとても大きい公園が建ってほしい。	小5
	遊具などを増やしてほしい。	中2
④スポーツ施設について	子ども用のバスケットコートを作ってほしい。	小5
	スケボーパークを作ってほしい。	小5
	むつ市の小学校の学区内にスポーツができるところを作って欲しい。	小5
	陸上競技場にナイター用の照明やアップ用のサブトラックを増設してほしい。	中2
	体育館、アリーナのようなものがもう一つくらい欲しい。	高2
⑤道路・交通について	歩道を広くしてほしい。歩くのが危ないから。	小5
	冬帰り道が暗く怖いので街灯がほしい	小5
	街灯をもっと増やしてほしい。	中2
	新幹線を通してほしい。	中2
	道を整備してほしい	中2
	交通の発達	高2
⑥その他 (施設等の整備について)	公共施設を増やして、誰もが気軽に立ち寄れるような場所をつくってほしい。	小5
	保育士の専門学校があったらいいと思う。	小5
	学生が使えるフリースペースがほしい。図書館や文化会館の2階の場所だけだと休日混んでいて勉強できる場所がない。「勉強スペース」と「会話スペース」みたいにして使いやすいところがほしい。	中2
	図書館だけでなく、飲み食いしながら勉強ができる場所。	中2
	もっと市で勉強したり読書したりゆっくりできるような公共施設が欲しい	高2
⑦自然環境・生活環境の保全	もっと自然を大切に活動してほしい。	小5
	ゴミを適当な場所に捨てないでほしいです。	小5
	ゴミ拾い	小5
	私達がやってはいけないと言われていることを大人がやらないでほしい(ゴミのポイ捨て、タバコを処理等)	中2
	タバコを道路などで吸わないでほしい	中2
	たばこの吸い殻ちゃんと自分で始末して欲しい。道路に捨てないで	高2
	ポイ捨てのない綺麗な環境	高2

⑧安全安心・住みやすいまち	安心安全な地域にもっともっとしてほしい	小5
	横断歩道をビュービュー走ってくる車が、こわいから、ちゃんと、止まってほしい (ちゃんと、止まってくれる人 車もある)	小5
	子どもたちが幸せに暮らせる街を作って欲しい	中2
	子どもがのびのびと遊べる社会	中2
	挨拶をしたときに返してくれる人ももちろんいるのですが、返してくれない人もやはりいるので返してほしい。	中2
	いつまでも住みやすい街ならそれだけで充分です。	高2

2. 学校に関すること		学年
①勉強について	パソコンを使って授業できたらいい。	小5
	べんぎょうを減らして欲しいです	小5
	毎日宿題をなくしてほしい。	小5
	宿題減らす	中2
	授業の選択	中2
②施設について	教室にエアコンを付けてほしい。	小5
	最近暑いから、むつ市の小学校にエアコンをつけてほしい。	小5
	学校の遊具を増やしてほしい	小5
	ものすごおおくあつついたため、教室にクーラーをできるだけはやめにつけてほしいです	中2
	学校のトイレを直す	中2
③先生について	先生の発言が厳しい、きつい、嫌な言葉か考えてほしい、相手の気持ちを考えてほしい。	小5
	先生ともっといっぱい話したいです	中2
④その他	がっこうにいるじかんを減らしてほしい {家にいる時間が少ないから}	小5
	すきなときに学校をやすみたい。	小5
	強制的に部活をさせないこと。児童の変化に気づいてほしい。	小5
	小学校でも自転車で学校に通えるようにしてほしいです	小5
	不登校の人に寄り添えたりできる場所を作って少しでも学校に来やすい環境を作ったらいいと思います。	中2
	部活動の学区をフリーにしてほしい、時間を増やしてほしい。	中2

3. 子どもの権利に関すること		学年
①いじめ・差別・虐待について	虐待や差別をしないようにしてほしい	小5
	公平にみんなが暮らせるようにしてほしい	小5
	女子と男子の差別をやめてほしい	小5
	イジメ0の取り組みをもっと続けてほしいと思いました。	小5
	いじめやが虐待がないようにするそういった地域になってほしい	中2
	いじめのことや学校生活などで気をつけることを教える。	中2
	暴力がなくなる社会	中2
	差別されない環境作り	中2
	虐待は青森や国に限らず色々な場所で行われていますが、少しだけでも愛を知って育てて欲しいですし、1人でも小さい頃から虐待や嫌なことを受けることの無い子が増えて欲しいので、虐待への対策をもっとしっかりして欲しいなと思います。	高2

②子どもの意見の尊重・大人の対応について	・大人と子供を同じ立場にしてほしい →年齢がちがくても、同じ接し方 →大人と子供は、同じひと人だから	小5
	子供の話を最後までちゃんと聞いて、一緒に考えてほしいです。	小5
	大人へ 何かあったら守ったりして欲しい。	小5
	子供が自由に自分の意見を言うことができる生活	中2
	自由に意見を言えるところをつくってほしい。	中2
	子供だからといって差別をしない。	中2
	子供の意見を尊重してくれる社会	中2
	もっと子供達のことを見て欲しい、子供が悩んでる時、辛い思いしてる時 “大人” が気づいて、話を聞くだけでもいいから、そういう良い“大人”が増えて欲しいです。以上です。	高2
③相談場所・居場所について	色々なことが相談できる場所やネット掲示板が欲しい。また、その相談したことを絶対に秘密にしてくれる人がいて欲しい。	小5
	一人で悩みを抱えて苦しむ人を0にしてほしい。(そのような活動をしてほしい)	小5
	こまった時に家族や友達を相談する。	小5
	子供が安心できるような相談ツールをもっと身近にしてほしい。	中2
	悩みを相談したら一緒に考えて悩んでくれる。	中2
	少しでも良いので将来について相談に乗ってほしいです。	高2

4. その他		学年
その他	遊ぶ時間をもっと増やしてほしい	小5
	休みを増やすこと	小5
	自由に希望に進む 夢に向かって進む	小5
	お金を配ってほしい	小5
	仕事がしたい。自分で仕事してお金を稼ぎたい。	小5
	芸能人が来るイベント！屋台も出してほしい！春祭りや夏祭りや秋祭りや冬祭りが開催されてほしい！	小5
	大きいイベント開催（子供から年配の方まで楽しめるようなもの）	中2
	障がいをお持ちの方と一緒に行事をやる（男女関係なく）	中2
	子供がやりたいことをできたり、より多くの選択ができるような環境づくりをしてほしい。	中2
	今の生活に満足しているので特にありません。	中2
	もっと、ひとり親家庭の現状を知り、高校生でもアルバイトができるようにしてほしい。都会の高校生はアルバイトできて、なぜ、田舎の高校生はアルバイトできないのか。同じ歳の子なのに、なぜ都会と田舎で区別されているのか。子どもたちが納得できる理由が欲しいです。	高2
	子供がより良く生活でき学校が嫌にならないような地域作りや自分の趣味や個性を伸ばせていけるようにしてほしい。	高2

(保護者)

子どもの権利を保障するために、どのような取組を行う必要があると思いますか（自由記載）

内 容	件 数			
	小5保	中2保	高2保	計
1. 権利の周知・学習の機会に関すること	5	4	2	11
2. 学校の対応・取組に関すること	11	14	4	29
3. 子どもへの大人の対応に関すること	9	0	2	11
4. 関係機関の連携・協力に関すること	5	0	0	5
5. 相談場所に関すること	6	2	0	8
6. 子どもの環境・子育ての環境に関すること	6	5	4	15
7. その他	6	4	1	11
合 計	48	29	13	90

子どもの権利を保障するために、どのような取組を行う必要があると思いますか

アンケートで多かった意見や特徴的な意見を抜粋して掲載しています。
意見の集約や個人の特定防止のために一部抜粋や表現の変更をして掲載しておりますので、ご了承ください。

1. 権利の周知・学習の機会に関すること

子どもは1人の人間である。親の一部ではない。親への啓発。 子どもたちへも、相手と自分は違うものであり、考えが違って当たり前ということを繰り返し伝えていく。考えの違う相手をどうやったら受け入れられるか考えて行くことが大切だと思う。
子どもの権利とは何か？ を親子で確認する機会を作る。親子行事などで親子で勉強する機会を作るなど 先に権利について親子共々 正しい知識を持たないと始まらないと思うので。
ハンドブックみたいなものがあればいいのに、と思ったことがあります。子どもの権利についてだけではなく、思春期や反抗期などについても前もって知ることができれば子どもとの関わり方など学んだり変えたりできて、子どもの権利を守ることに少しでも繋がるのかなと思います。
そうではない人もいるかもしれませんが、むつ市は子供の人権についてあまり考えていない人が多いと感じます。子供は、大人の言うこと聞くのは当たり前で、大人は子供に言うことを聞かせるため、叩いても、脅してもいいと思っているようです。虐待になるということを知らない大人が多くてとても残念です。 むつ市の子どもの権利条例が、むつ市の子どもの生活の安全安心に繋がるよう応援しています。
地域社会全体の共通理解

2. 学校の対応・取組に関すること

子供が差別や周りから無視されたりあだ名で呼ばれない嫌や気持ちにならないよう半年に1回目でもいいので皆んなで話し合う機会があったりするといいと思います。
学校の先生と、子どもと個別に係る時間があると良いと思う。
もう少しクラスの人数を減らし、担任の先生との話合える雰囲気があれば良いのではないかと思います。
一人ひとり、ゆっくり話を聞く必要があると思うが人員や時間を考えると現状無理があり、それを改善する取り組みは必要だと思う。
いじめの認定を速やかに行う。実態の公表。加害児童の転校。
学校統合、部活動の民間移行など大人が先導しないと決まらないことだと思いますが、当事者の子どもたちの意見をまず聞いてあげてほしい。打ち込んで夢中になっている部活を突然取り上げられると思っていて不安なようです。可哀想です。もしくは集計結果を分かりやすく公表してほしいです。
担任が孤立していないかまたそれに近い状況にある生徒に感心を寄せて欲しい。無関心な先生が増えてきていると感じます。
家庭訪問 今はなくなってきているので

3. 子どもへの大人の対応に関すること

子供の意見をよく聞く（まちがった回答でも、強く否定せず、そんな意見もあるよね、でも、こういう考えもあるよ、といった言い方をする）
大人が考えることが必ずしも子どもが求めることと一致するとは限りません。子ども達の声を第一に、今後の取り組みに活かして頂ければと思います。
子どもたちの困ってることや意見を聞いてそのことを改善して取り組みが必要があるとおもう
子供の扱いに慣れていない大人が多いことにより、子供が嫌なことを言われたりすることがあるのでもっと子供の気持ちを考えて行動や発言をしてほしい。地域の方たちももっと理解してほしい。

4. 関係機関の連携・協力に関すること

家庭、学校、地域が連携して子どもにとって良いことは何か考え実行する。
子どもと保護者(家庭)、学校、地域等の問題意識をすり合わせ、情報がしっかりまんべんなく届くように発信の仕方でも考えたほうが良いと思います。
学校内でだけ対応せず外部の組織とも連携し、対応できるように。地域のフリースクールの整備など。

5. 相談場所に関すること

子供から気軽に相談できる窓口があること (LINEなど)。
子どもの権利が侵害されている場合に、匿名で、気軽に通報や情報提供ができる窓口の設置
子どもにとって、学校の職員室に入ることすら、ものすごく緊張することなのだそうです。もし、悩みや困り事があったとしても、上記の相談室に自分から電話をしたり、手紙を書いたりしようという考えには至らないそうです。「知らない人にはついていけない、話をしないように」と、教えられて育っているのに、困り事があったら知らない人に電話する。というのは子どもの中ですごく怖いことだそうです。上記の相談室が、もう少し子どもの身近に感じられるようなポジションにあるといいと思います。

6. 子どもの環境・子育ての環境に関すること

居住地によるスポーツ、芸術、学習の機会の差を少なくし、地方からでも経済的負担が少なく済むような高度な学習の習得。
子供の権利とかと言うより、子供の学びたい思いを大切に出来るよう確立して欲しい。 例えば大学までの学校にかかるお金(学費等であってアパート代とかではない)を確実に無償にする、とか。理由としては親の経済状況で大学を諦める子は数多いと思うからです。奨学金を借りようとしても条件が厳しかったり親の収入で借りれることに制限がかかったり。それは不平等に感じます。学びたい意欲のある子には学ぶための支援が必要。人権より、もっと現実的な事に着目して取り組んでほしい。
クラブ活動場所が自宅から遠くて通えない。親が共働きで送迎ができないが故に選択肢が限られ、本当に自分のやりたい事、興味がある事をやる事ができない。 特に冬期間。学校や自宅以外で友達同士集まれる場所が少ない。無いに等しい。
子供の世界は狭くなりがちで一度つまずくと悩みが続いてしまうことがあります。 これからさらに少子化が進んでいくので学校や年齢の枠組みを越えた友達作りや人間関係の構築をしてほしいと思います。色々な人に出会うことで気の合う人や相談できる人ができるのではないかと思います。 子供に向き合うには、親が気持ちに余裕があることも大切だと思うので親に対するサポートも必要だと思います。
選択肢をもっと提示するべき。 学校に行けない場合はこのように社会がケアしている、安心して休んでいい、その後にこういう支援がある。学校で生活につまづいた場合でも、安心して生きて良いという自信が持てるような受け皿を作り、それを一人でも多く認知する事が必要である。
色々な理由で学校に行けない子達のスクールを作ってほしい。 高校なら選択も広がりますが小、中学は義務教育です。時間に関係なく勉強をできる環境があると親も子どももどかしさに悩まず生きていけると思う。
家庭の金銭事情で我慢や選択肢をせばまれる事無く進学出来る環境 体調の不良等で休まざる得ない時の勉強の補習 自発的に学びたい時の授業以外での環境下

7. その他

子供の権利の前に親の権利を整えてからじゃないのかな?と思います。
定期的にアンケートを取る。
大人がゆとりある生活を送り、文化芸術に触れる機会を持つこと
過剰になりすぎて、重症な案件を見逃してしまわないか心配。あまり、子供を甘やかし過ぎないようにして欲しい。そして、本当に必要な子供を守って欲しい。
小さなことでも直ぐ対応